

富士川橋

# かけはし

第178号  
2022年2・3月号

発行：峡南教育事務所  
地域教育支援スタッフ

## 峡南地域教育推進連絡協議会 第3回理事会

### 書面決議・オンライン意見交換会 開催

今年度の事業報告決算見込み、来年度の事業計画、役員案などが検討されました。来年度の学習会は、異校種連携セミナーと子育て学習会を統合して三回の開催とし、多くの方に参加していただけるよう

#### 議事内容

第3回理事会は感染症防止のため書面決議となりました。それを受け、二月二二日(火)に、正副会長、事務局(身延町生涯学習課)、教育事務所員、参加希望者など十名でオンライン意見交換会を行いました。



今村会長



#### 今村文子会長の言葉で閉会

「コロナ禍でも工夫して行事が開催でき感謝しています。様々な立場の人が関わっている地推協の会長になって学ぶことが多く、本当によかったです」と

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2  
TEL:0556-22-8154  
FAX:0556-22-8144  
HPでも御覧になれます。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kvoiku-mk/index.html>



富士川大橋や富士橋など似た名前の橋がありますが、身延町切石と下田原を結ぶのが富士川橋です！

文章の乱れ許さない

今号の一枚

小林さゆり主幹

富士川河川敷で風に吹かれて



目次：	面
第3回地推協理事会開催	1
異校種連携セミナー開催&講師より	1
思春期&子育て体験学習	2
峡南地域の絶滅危惧種	3
SDGs講習会 富士川町公民館講座	3
増商高・市川高・峡南高 閉校	4
SSWの活動	4

### 地推協・峡南教育事務所主催 一月二六日開催 峡南地域異校種連携セミナー

講師の公認心理師・臨床心理士 一瀬英史氏よりメッセージをいただきました。

講演を聴いてくださったみなさま、また、講演を「かけはし」にまとめてくださったスタッフのみなさま、回答を読んでいたいたみなさま、ありがとうございました。

三〇年後……

我が町は、誰もが心を健康にする智恵を身につけています……

我が町は、誰もが子どもの育ちについて知っています……

我が町は、誰もがストレスに強いです……

我が町は、困ったらどこへ相談すればいいかわかります……

我が町は、災害に遭ったらみんなで支え合える絆があります……

我が町は、うつ病の人が日本で最も少ないです……

我が町は、自殺者が0です……

そんな峡南地域を目指して、今から「チーム峡南」で包括的な心の健康促進活動ができたらいいなあ、と夢を膨らませています。

セミナーの詳しい内容は、号外をご覧ください。いただいた質問と回答は峡南教育事務所ホームページに掲載しています。

今年度最終号です。感染症に振り回されながらも「環境に合わせて様々なことを変えていく人間はたくましい！」と感じた1年間でした。

# 峡南地域中学校 思春期体験学習

## 増穂商業高校 子育て体験学習

思春期体験学習とは

峡南地域の中学三年

生が「生命の大切さ」

「妊娠・出産・育児」に

ついて学び、多感な時期

の生徒達が、町や保健福

祉事務所の保健師・助産

師の皆さんの現場での経

験や思いを聞き、人生を

考える場でもあります。

例年は、事前学習・講

義・人形での抱っこやお

むつ替え練習・赤ちゃん

抱っこ体験・妊婦や母親

との交流（各中学校で内

容は異なる）などを行っ

ていますが、昨年度より

感染症を考慮した内容に

変えて実施しています。

**思いが込められた講義**

各町保健師、助産師、

学校の養護教諭が講師と

なり、中学生に保健師の

仕事、妊娠・出産、親に

なること

などの知

識と「幸

せな人

生を送



三珠中↑  
抱っこが様  
になっています

手順を確かめながら  
市川中↑おむつ替え



市川南中↑六郷中  
と合同で参加



六郷中↑愛  
人形でも愛  
しくなる！



早川中↑講義を  
熱心に聞く生徒



南部中↑本物の赤  
ちゃん抱っこ。左は  
講師の新藤京子先生



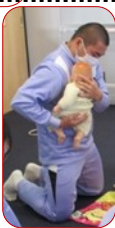
身延中↑妊婦疑似体験  
階段は慎重に



増穂中↑妊婦疑似体験  
起きるの大変！



緋沢中 お母さんの  
気持ちが少し分かった



増穂商業高校 子育て体験学習

富士川町子育て支援課と連携

して十一回目を迎えました。親

になることをより意識した内容

で、毎年三年生が学んできまし

たが、閉校のため今年度で最後

となりました。

生徒は、保健師の仕事内容や

コロナ禍での変化など質問し、

講義の最初に、胎児の心音や産

声を聞きました。それから、妊

婦や胎児の成長を模型で確かめ

妊婦や母親のインタビュー動画

を視聴し、講義内容を現実のも

のとして捉えた後で、子どもの

発達と成長について学びまし

た。その後「親になるために必

要なこと」をグ

ループで話し合

い「物・環境・

気持ちなど親に

なるためには

しっかり考えて

行動することが

大切」と全体で確認しました。

そして妊婦疑似体験と人形抱っ

こ・おむつ替え体験をし、感想

をまとめました。生徒の真剣な

眼差しが印象

的でした。



体験学習では

妊娠八ヶ月ほどのシ

ミュレーターをつけ、

寝転び起きる、物を拾

う、足の爪切り、階段

昇降など妊婦がしづら

い行動と、赤ちゃん人

形で抱っこやおむつ替

えを体験

しました。

生徒の感想から

「妊婦の大変さがわかっ

たので支えたい」「親に感

謝したい」「赤ちゃんの成

長を見守るのは幸せで楽し

そう」「妊娠中に夫はどう

接すればよいのか知りた

い」「生まれてきて良かつ

た」「命を大切にしたい」

「人形でも本物みたいで可

愛くなってきた」「いい親

になりたい」など前向きな

感想がたくさんありまし

た。生徒は、講師の思いを

中学生らしい真っ直ぐな気

持ちで受け止め、自分の事

として一生懸命取り組んで

いました。

# 駆除しないで!! 絶滅危惧種かも!

## 自然豊かな峡南地域

峡南地域の希少生物をご存じですか。わかば支援学校ふじかわ分校に今年度赴任してきた谷戸聡子副校長は驚きの体験をしました。

### 中庭の砂場に大量発生!!

昨年六月、それまで見たこともないハチのような地バチが、地面にせっせと穴を掘っているのを発見。児童生徒が毎日遊んでいる場所なので「駆除しなければ」と思った

ところが、事務員さんより「毎年発生しています、絶滅危惧種なので駆除できないらしいです」との返答が。驚いてネットで調べてみると「ニッポンハナダカバチ」に行き当たり、環境省二〇二〇レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類「絶滅の危険が増大している種」に分類、県のレッドデータブックには「情報不足」との但し書きがあるものの「南部の砂地では毎年確認されている」と記載されています。ふじかわ分校における発生状況と酷似していることから「ニッポンハナダカバチ」に間違いないと確信したそう



掘った穴  
ニッポンハナダカバチ  
穴掘りに夢中

砂場で遊びたい子どものためにどうしたらいい?

「ハチが穴を掘れる必要は条件は砂に水分があることなので、川沿いの分校付近はちょうどいい具合に湿っていて、硬さも最適なのではないかと、砂を乾燥させることができればハチは来なくなる」そ

うですが砂を乾燥させるのは難しいので、次に、ハチが飛来する前に砂場をシートで覆い物理的に遮断することを提案されたそうです。それならできそうだと業者に相談してみると、砂場には凹凸があるためシートで被うとつまづく危険があり、そう簡単にはいかないとのことでした。数年前、峡南高校跡地でも砂場に大量発生したことがあり、やはり危機一髪で駆除を逃れたことがありました。ハチとの共生は中々難しい課題です。

### 谷戸副校長より

絶滅危惧種が日常の光景に存在する学校に、改めて自然豊かな環境であることを実感しています。トンビや白鷺など大型の鳥が近くまで飛来し、白鷺が屋根で静止している様はさながら風見鶏のようでした(ちなみに車に落とされる鳥フン被害も大型鳥ゆえの尋常ではない量に驚かされます)。まさに峡南地域ならではの恵まれた自然環境の中、子どもたちの豊かな心が育っていくのではないのでしょうか。



令和三年十一月二〇日(土) 2030SDGsの公認フェアシニター田中実氏を講師に迎え、小学生十名、保護者四名が参加し、カードゲームでSDGsについて学びました。



令和三年十一月二〇日(土) 2030SDGsの公認フェアシニター田中実氏を講師に迎え、小学生十名、保護者四名が参加し、カードゲームでSDGsについて学びました。

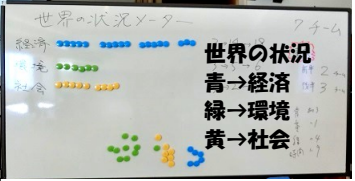
### ゲームの内容

各チームに目標・お金・時間・プロジェクト(計画事業)のカードが与えられます。例えば目標「大いなる富」の達成は、ゲーム終了時に決められたお金を稼ぐことです。そのためプロジェクトを実行するのですが「交通インフラの整備」を選んだとします。実行のためにはお金と時間を遣い、完成すると逆にお金と時間が手に入ります。また、ホワイトボードには

## SDGsって何だろう?

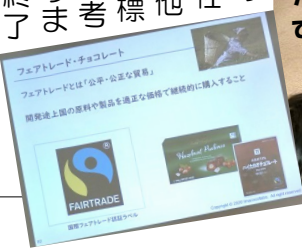
### 富士川町公民館講座

講座の様子  
どのチームも前半は自分たちの目標達成だけに集中していましたが、中間で世界の状況について考える時間を取ることで後半は、世界の経済・環境・社会の状況や、他のチームの目標達成への貢献を考



参加した小学生たちは「最初は難しかったけど楽しかった。またやりたいていもダメだとわかった」「フェアトレードの商品を見つけたい」などと話しながら、笑顔で会場を後にしました。

後、SDGsについて田中氏より説明があり、実際にゲームを行うことで実感する「他や全体を見る視点」がSDGsに必要な概念で、SDGsは特別で新しいことではなく、身の周りにもたくさんヒントがあるとのことでした。



# 増穂商業高校 市川高校 峡南高校 閉校

## 3校の遺伝子は青洲高校へ

三月一日(火)最後の卒業式に続いて三井孝夫県教育長、教職員、生徒、各校同窓会長が出席する中で、増穂・市川・峡南の三校閉校式が行われました。

交流があった。私たちの心の中の学校は永遠に在り続ける。三校の遺伝子を受け継ぎ、新たな青洲高での歴史を創造していつて欲しい」と話しました。

### 教育長式辞

閉校式を主催する県教育委員会の三井教育長は「地域の期待の中、三校で育てられた四万三千の卒業生は県内外で活躍している。青洲高校が三校の伝統と精神を引き継ぎながら、更なる発展・飛躍を遂げていくと期待する。三校の卒業生は、青洲高生を同窓の後輩として導いて欲しい」と述べました。



### 校旗引継

参加者全員が見守る中、三校生徒会長から青洲高生徒代表へ、校旗が引き継がれました。



### 校長挨拶

三校の小林智校長は自身も市川高校の卒業です。「寂しさが溢れる。地域の希望より生まれ、地域を支える人材を育て、地域に支えられ励まされ、温かい



↑ ↑ ↑  
3校の校章



感染症防止のため、十分程の短い時間となりましたが、参加者や同窓生の思いの詰まった式になりました。

## 変わりたい方向へ伴走していく

### 峡南教育事務所SSW 渡辺実子(じつこ)さん



峡南教育事務所には二名のスクールソーシャルワーカー(SSW)がいます。その活動について渡辺さんに教えてもらいました。

### SSW

スクールカウンセラー(SC)は相談者の心(内面)に働きかけていきますが、SSWは環境(外)の変革や改善から、子どもの権利を守り、より良く育っていくように働きかけます。

### SSWの考え方

例えば、ある子どもに問題行動があったとします。SSWは「その子が変われば」とは考えず、子どもを取り巻く環境を見てみます。すると親の行動にも問題があることがあります。その時にも「親が悪い」と思うのではなく、さらに親の環境も見てみます。そうすることで、実は失業中だったり、病気だったり、生育環境がよくなかったり、親もそうならびんを得なかった

問題が出てくるかもしれない。SSWはそういった環境を少しずつ改善することで、子どもが変わっていきけるようになり、学校や家庭が閉ざされた状態にならないように相談できる場所を紹介したり、学校と外部機関を繋いだりする役割を担っています。対象者が持っている力の中で、変わりたい方向に伴走していくのがSSWです。そのため、地域のことを知るのには不可欠だと渡辺さんは言います。

### 問題にチームで対応するために

最近、ますます深刻になっている虐待の問題は、保育所や学校などの教育現場で発見されることが多いのが現状です。とても難しい問題なので、さまざまな関係機関が関わった「チーム」での対応が求められます。SSWには第三者としてチーム作りを調整し、相談体制を整える役割もあります。

### 渡辺さんがSSWを選んだ理由

学校は子どもが通ってくる場所で、問題も早期に発見でき

き、子どもとも自然につながることができるところから、SSWとなりました。福祉とは人の生活のことで、日常生活の中で子どもと関わるのが大事だと思っているからです。また「その子」のために学校の先生や関わっている人達が、同じ方向を向いてチームになったと感じた時が嬉しい瞬間だと言います。

話を聞きながら渡辺さんのプロフェッショナルな姿勢を言葉の端々から感じました。

### 渡辺さんより

峡南地域は、郷土愛に溢れ、地域や町を守ろう、子どものために何とかしよう、と真摯に取り組んでいる人が多いと感じます。チームの一員として子ども達の環境を考えていきます。

1年間のご愛読・取材ご協力ありがとうございました。温かいご意見が励みになりました☺  
かけはし編集長 水上奈由美



上北橋歩道で